



江戸時代、年貢米は能代川の舟着き場から積み出され、新潟にある藩の蔵(新発田藩は現在の女池付近)に納められました。当時、米俵は二十貫(約九十キログラム)を一隻の船に二百俵積みこみました。

下興野の沢田正俊家文書『善道興野、下興野積合巻番附諸事日記』

の慶応元年(一八六五)の

年貢米と袈裟がけ地蔵

項に、次のようなことが書かれています(原文をわかり易く書き直しました)。

十月十九日昼前に始め、八ツ半時頃(午後三時頃)善道積みじまい。同八ツ半時、下興野積み始め、夕方までに積みじまい。

うな個人個人の所得割でなく、村々に一括して割り当てられました。不作の年は供出して苦心したのですが、特に村々をたばねる庄屋、村の名主、組頭、惣代の苦勞は大変だったようです。

が伝えられています。宝暦(一七五一〜一七六三)の頃、旱害、水害で年貢米が集まりませんでした。藩の役人から厳しく責められましたがどうにもならず、業を煮やした役人は、名主と組頭を斬殺しました。そして名主の家族は役宅没収のうえ所払い、百姓惣代二人も所払いになりました。(役人が藩の取り調べも無いのに、出先で領民を斬ったという言い伝えの真偽はわかりません。しかし宝暦八年、名主が収納米一件で御役取り上げのうえ、追放されたことが事実として残っています)

村の人たちは名主、組頭の供養に地蔵様をつくり、その右肩から背にかけて長さの三十センチ、深さ約一センチの切り傷を入れ、船着場(現在の下興野橋付近)に安置しました。

北上の地蔵様にも次のような話が伝えられています。年貢米百俵のうち一俵が紛失し、検査に来た藩の役人は、村中の人を全部様にして詰問したがわからず、結局、ある一人が容疑者として斬られたということです。下興野の地蔵様と同じく、その供養のためにつくられたものでしょう。



下興野の袈裟がけ地蔵。下興野の地蔵様について、次のような話

が伝えられています。宝暦(一七五一〜一七六三)の頃、旱害、水害で年貢米が集まりませんでした。藩の役人から厳しく責められましたがどうにもならず、業を煮やした役人は、名主と組頭を斬殺しました。そして名主の家族は役宅没収のうえ所払い、百姓惣代二人も所払いになりました。(役人が藩の取り調べも無いのに、出先で領民を斬ったという言い伝えの真偽はわかりません。しかし宝暦八年、名主が収納米一件で御役取り上げのうえ、追放されたことが事実として残っています)

昭和五十八年度前期技能検定を実施
□実技試験：六月二十二日、(木)、九月十七日(土)
□学科試験：九月四日(日)、十一日(日)、十八日(日)
□受験申し込み：四月二十六日まで(新潟県職業能力開発協会(新潟市川岸町一四八)一八、まるえビル三階) ☎二五二一三十一・二五五〇
へお問い合わせは申し込み先へお問い合わせください。

酒類の販売には免許が必要！
最近、一部の地域で「免許がなくても酒が売れる」という内容のチラシが配布されていますが、酒類を販売するには酒税法の規定に基づく酒類販売業免許が必要で、酒類販売業免許を受けないと罰金や没収の恐れがあります。

吉井氏が民生委員に
民生・児童委員を務められていた小島能道さん(山谷町一)が病氣のため退任され、吉井秀行さん(山谷町二)が四月一日付けで就任されました。担当区域は山谷町二丁目です。

文学講座にご参加を
聴覚ホール
内容：詩人
中原中也の生
涯と作品、新潟砂丘と近代文学、坂口安吾の生涯と作品、歌人会津八一の生涯と作品、俳人種田山頭火の生

近現代文学前期を学習します
◎募集定員：百名(定員になりしだい締めきります)
◎資料費：千円
◎申し込み：資料費を添えて図書館(☎二〇〇九七)へどうぞ

昭和五十八年度前期技能検定を実施

酒類の販売には免許が必要！

吉井氏が民生委員に

文学講座にご参加を

近現代文学前期を学習します

募集定員：百名

酒類の販売には免許が必要！

吉井氏が民生委員に

募集定員：百名

文学講座にご参加を

近現代文学前期を学習します

募集定員：百名

酒類の販売には免許が必要！

吉井氏が民生委員に

募集定員：百名

文学講座にご参加を

近現代文学前期を学習します

募集定員：百名

酒類の販売には免許が必要！

吉井氏が民生委員に

募集定員：百名

文学講座にご参加を

近現代文学前期を学習します

募集定員：百名

お買物、ご用命は市内で

駐車場完備

胃腸・皮膚・肛門(ぢ)・泌尿・X線

山田外科医院

心身の健康は居合道で。指導いたします

